

第4編 安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

第1章 自然と共生し地域の多様性を活かしたまちづくり

計画的なまちづくり

1 目指す姿

目指す姿

豊かな自然や歴史的景観などの地域の多様性を活かしたまちづくりがすすめられ、まちのにぎわいが創出されています。

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）持続可能なまちづくり

＜主な事業名・取組＞

➤市街化調整区域の集落における住民主体のまちづくり支援、多摩ニュータウンの持続可能なまちづくり

- ・「第2次都市計画マスタープラン」を策定（平成26年度）
- ・「多摩ニュータウンまちづくり方針」を策定（平成30年度）
- ・「立地適正化計画」を策定（令和元年度）

＜今後の課題＞

- ・人口減少・少子高齢化、生活利便性の維持・向上、地域経済の活性化、行政コストの削減、脱炭素社会への対応
- ・コロナ禍や予期できない災害など、都市を巡る環境の変化に対して、職と住との用途の融合など柔軟に対応できるまちづくり
- ・多摩ニュータウンの持続可能なまちづくり

（2）地域拠点の整備

＜主な取組＞

- ・「高尾山口駅周辺地区都市計画方針」を策定（平成27年度）
- ・「高尾山口駅及び参道周辺整備計画」を策定（令和元年度）
- ・「加住町・宮下町地区周辺のまちづくり計画」の認定（令和2年度）

＜今後の課題＞

- ・地域主体のまちづくり推進体制の構築
- ・高尾山口駅周辺地区まちづくりへの日本遺産の活用

（3）主要駅周辺の整備

＜主な事業名・取組＞

➤旭町・明神町地区周辺まちづくりの推進

- ・「旭町・明神町地区周辺まちづくり構想」を策定（平成25年度以前）

＜今後の課題＞

- ・「旭町・明神町地区周辺まちづくり構想」の改定とともに、再開発事業に向けた権利者との合意形成

（4）まちなみ整備の推進

＜主な事業名・取組＞

➤土地区画整理事業

- ・打越土地区画整理事業の換地処分（平成28年度）

＜今後の課題＞

- ・上野第二地区土地区画整理事業の事業完了
- ・区画整理事業の長期化に伴う、今後の区画整理事業の進め方の検討

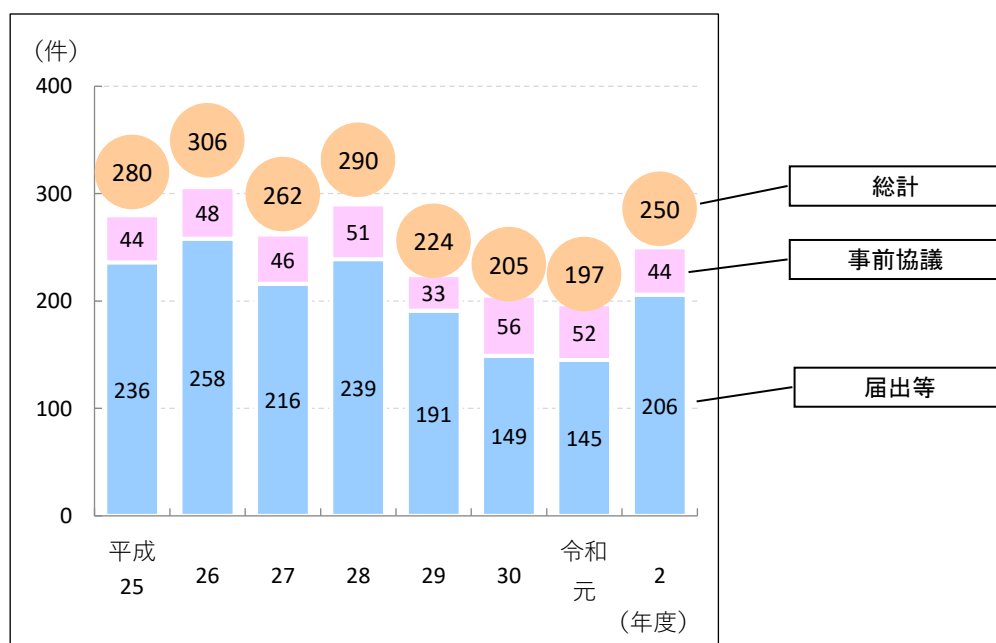
(5) 都市景観の推進	
<主な事業名・取組> ➤都市景観形成 ・高尾駅北口地区屋外広告物地域ルール運用開始（平成30年度～） <今後の課題> ・都市景観の推進のため、景観条例及び景観計画の運用に関する成果や課題の振り返りによる改正等の検討 ・市民の景観に関する意識の醸成を図るため、普及啓発や支援制度等の充実	
(6) 国・都の未利用地等の活用	
<主な事業名・取組> ➤八王子駅南口集いの拠点整備 ・「八王子駅南口集いの拠点整備基本計画」を策定（平成30年度） <今後の課題> ・八王子駅南口集いの拠点整備に向けて、事業条件検討や用地取得などの推進	

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	八王子の景観への市民評価度	↑	37.2% (平成23年度)	54.1% (令和2年度)	60%	74.1
②	住み続けたいと思う市民の割合	↑	88.9% (平成23年度)	90.5% (令和2年度)	92%	51.6

■データ

景観に関する届出件数



第4編 安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

第1章 自然と共生し地域の多様性を活かしたまちづくり

誰もが快適なまちづくり

1 目指す姿

目指す姿

身近にみどりを感じられ、ユニバーサルデザインを基調としたまちづくりが推進されるとともに、快適に暮らすことができる生活環境となっています。

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

＜主な事業名・取組＞

- こども科学館・大横保健福祉センター周辺施設の一体整備
 - ・思いやり駐車場設置費の助成（平成27～令和2年度）
 - ・こども科学館、大横保健福祉センター、大横町公園及び周辺歩行空間を一体整備（平成28～29年度）

（2）都市緑化の推進

＜主な事業名・取組＞

- まちのみどりの創出、生産緑地地区の管理
 - ・緑化条例に基づく開発行為に伴う植樹の推進（平成25年度以前）
 - ・生け垣造成補助の実施（平成25～令和2年度）
 - ・グリーンパートナー養成講座の実施（平成30年度～）
 - ・特定生産緑地の指定開始（令和2年度～）

＜今後の課題＞

- ・市民主体によるまちなか緑化事業の推進
- ・農業従事者の高齢化に伴い、生産緑地地区面積の減少や管理状況の悪い農地が増加する傾向があるため、質の高い生産緑地地区を保全するための新たな取組が必要

（3）快適な居住環境の整備

＜主な事業名・取組＞

- 住宅セーフティネットの促進、居住環境の整備、空き家対策促進
 - ・市営住宅中野団地の建替（平成20～28年度）
 - ・居住環境整備補助事業の開始（平成25年度以前）
 - ・住宅確保要配慮者に対する民間賃貸住宅への入居支援（平成30年度～）
 - ・市営住宅泉町団地の建替（平成25～令和2年度）
 - ・空き家の利活用促進整備補助事業の開始（平成28年度）
 - ・「空き家等対策計画」を策定（令和2年度）

＜今後の課題＞

- ・今後増加が見込まれる空き家の発生抑制や適正管理及び利活用などの空き家対策

（4）公園・緑地の整備・維持管理

＜主な事業名・取組＞

- 公園の整備、協働による公園づくり
 - ・富士森公園のリニューアル（平成25年度～）
 - ・「公園施設長寿命化計画」の策定（平成27年度）
 - ・公園遊具の計画的更新（平成28年度～）
 - ・明神町なかよし公園の整備（平成30年度～）

＜今後の課題＞

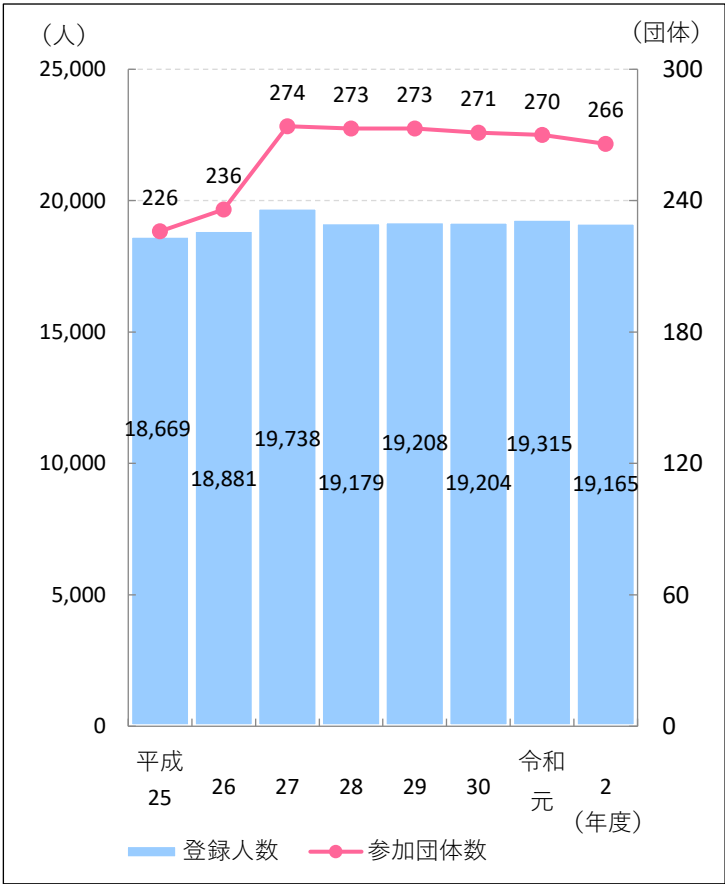
- ・地域の身近な施設である公園の安全性を確保するための老朽化した公園施設の更新
- ・地域との協働による公園づくり・公園管理

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	市民1人当たりの都市公園面積	↑	11.48㎡ (平成23年度)	12.29㎡ (令和2年度)	12.5㎡	79.4
②	誰もが安全で快適に暮らせるまちになっていると感じている市民の割合	↑	22.7% (平成22年度)	35.3% (令和2年度)	40%	72.8

■ データ

公園アドプト団体数と参加人数



災害に強いまちづくり

1 目指す姿

目指す姿	災害から市民の生命や財産を守るため、災害に強い都市基盤の整備がすすめられ、さらに施設等の耐震化などにより都市の防災機能が向上しています。
------	--

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（１）都市基盤整備の推進	
＜主な事業名・取組＞ ➤急傾斜地対策 ・「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」に基づき、東京都が実施する工事の一部を負担（平成25年度以前） ＜今後の課題＞ ・土砂災害による急傾斜地の崩壊を防ぐための関係機関と連携した対策	
（２）都市の防災機能の向上	
＜主な事業名・取組＞ ➤耐震化促進 ・特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業の開始（平成25年度以前） ・特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断未実施者への戸別訪問等による耐震化の啓発を実施（平成25・28年度） ・「公共下水道総合地震対策計画」を策定（平成25年度） ・下水道管路施設耐震診断の実施（H26～30）及び耐震化工事の実施（平成29・30年度） ・避難路に面した民間のブロック塀の撤去・新設に対する補助事業の開始（平成30年度） ・特定緊急輸送道路沿道建築物のI s値0.3未満の建築物に対する補助加算を実施（令和2年度） ＜今後の課題＞ ・大地震による災害のほか、風水害による甚大な被害が多く発生している状況を踏まえた、災害に強い都市基盤の整備や防災拠点の整備 ・災害時の避難所運営における感染症対策など新たな課題に対する検討	

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する 進捗度
					令和4年度	
①	特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率	↑	81.7%	92.5%	96.6%	72.5
			(平成24年度)	(令和2年度)		
②	下水道の耐震化率	↑	34.0%	99.9%	100%	99.8
			(平成24年度)	(令和2年度)		

防災体制の充実

1 目指す姿

目指す姿

市民が高い防災意識を持ち、地域による防災体制が充実しています。また、大規模災害発生時に迅速・的確に対応するため、関係機関との連携体制や災害後の復旧・復興の仕組みが整っています。

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）災害に対する備え

<主な事業名・取組>

➤消防団運営、福祉避難所の整備

- ・消防団員メール配信システムの導入（平成27年度）
- ・福祉避難所の整備（平成27年度～）

<今後の課題>

- ・地域の防災体制を充実させるための自主防災組織への支援の充実とともに、地域防災力向上のための新規消防団員の確保

（2）自助・共助体制の充実

<主な事業名・取組>

➤災害対策

- ・「障害がある方のための防災マニュアル」を策定（平成28年度）
- ・「総合防災ガイドブック」を発行・市内全戸に配布（平成30年度）
- ・「総合防災ガイドブック（第2版）」を発行・市内全戸に配布（令和2年度）

<今後の課題>

- ・自主防災組織団体数は増加傾向であるが、今後人口減少や高齢化により、担い手の減少が見込まれるため、持続可能な地域防災を継続するための調査・検討が必要

（3）危機管理対策

<主な取組>

- ・新型コロナウイルス感染症危機管理本部会議の設置（令和元年度）
- ・新型コロナウイルス感染症対策本部の設置・運営（令和2年度）

<今後の課題>

- ・新型コロナウイルス感染症対策をふまえた行動計画の改定

（4）防災情報の迅速な提供

<主な事業名・取組>

➤防災行政ネットワークの整備

- ・防災行政無線のデジタル化及びFAX設備整備（平成26～令和元年度）
- ・八王子FMと「災害情報の放送に関する協定書」を締結（平成29年度）
- ・防災無線アプリ「コスモキャスト」を導入（令和2年度）

<今後の課題>

- ・防災無線のデジタル化のメリットを活かした新たな発信手法の検討

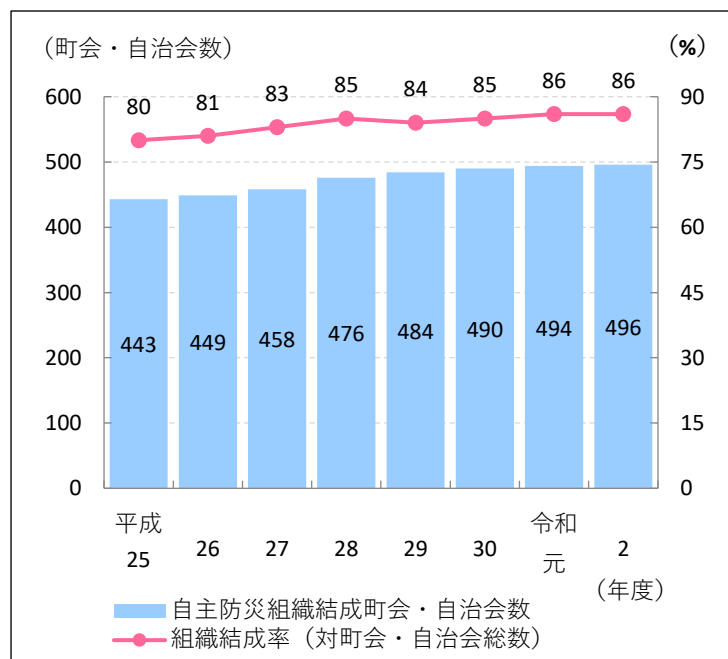
(5) 関係機関等との連携強化 ＜主な事業名・取組＞ ➤災害時地域医療体制の整備 ・災害医療コーディネーターの設置（平成25年度）及び災害時緊急医療救護所の設置（平成26年度） ・災害対策医薬品供給車両（モバイルファーマシー）の運用における相互連携協定を締結（令和元年度） ＜今後の課題＞ ・災害拠点病院の新規指定における都への働きかけによる、市中心部の災害医療体制の充実 ・コロナ禍での緊急医療救護所設置・運営訓練の実施手法の確立による、継続した訓練の実施
(6) 復旧・復興体制の整備 ＜主な事業名・取組＞ ➤都市復興マニュアルの活用 ・「震災復興マニュアル」を策定（平成24・25年度） ・震災復興まちづくり訓練を実施（平成26年度～） ・地積調査の実施（平成26年度～） ＜今後の課題＞ ・「震災復興マニュアル」の適時適切な改定

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	各家庭で災害時のための食料及び飲料水を備えている市民の割合	↑	23.7% (平成23年度)	42.6% (令和2年度)	80%	33.6
②	1年間のうちに防災訓練に参加したことがある市民の数	↑	52,046人/年 (平成23年度)	18,496人/年 (令和2年度)	118,200人/年	—

■データ

自主防災組織結成町会・自治会数及び結成率



防犯体制の充実

1 目指す姿

目指す姿	市民の防犯意識が高まり、地域による防犯活動が実施されています。また、犯罪を防ぐ対策がすすみ、市民が安全で安心した日常生活を送っています。
------	--

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

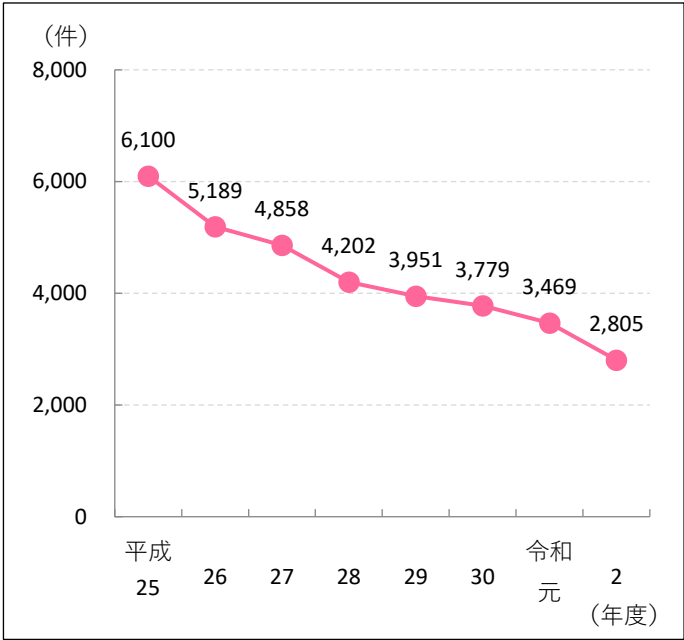
（1）生活安全対策の充実	
＜主な事業名・取組＞	
➤生活安全対策、再犯防止の推進	
・安全・安心パトロールの実施（平成25年度以前）	
・地域防犯リーダー養成講習会の実施（平成25年度以前）	
・「生活の安全・安心に関する条例」改正（平成26年度）	
・客引き行為等防止パトロールを実施（平成26年度～）	
＜今後の課題＞	
・令和3年（2021年）4月に策定した「再犯防止推進計画」に基づく、再犯防止に向けた施策・取組の着実な推進	
（2）地域の防犯体制の充実	
＜主な事業名・取組＞	
➤生活安全対策	
・町会・自治会の自主防犯活動への支援（平成25年度以前）	
・町会・自治会が設置する防犯カメラ設置経費の補助制度を創設（平成29年度）	
＜今後の課題＞	
・防犯に対する知識や意識の向上、関係機関との連携による地域の防犯力を高め、安全で安心なまちづくりの推進	
・地域防犯の担い手である市民の高齢化を踏まえた、新たな地域防犯リーダーとなる担い手の確保	
（3）防犯意識の向上	
＜主な事業名・取組＞	
➤生活安全対策	
・不審者情報・防犯情報をメールで発信（平成25年度以前）	
・高齢者世帯に自動通話録音機を貸与（平成29年度～）	
＜今後の課題＞	
・犯罪発生数は減少しているものの、特殊詐欺においては依然として多発している状況を踏まえた、継続的かつ効果的な防犯対策	
（4）暴力団排除の推進	
＜主な取組＞	
・「暴力団排除条例」を施行（平成25年度以前）	
・不要要求防止責任者講習会の開催（平成25年度以前）	
＜今後の課題＞	
・暴力団排除の取組をより実効性の高いものとするため、引き続き不要要求防止責任者講習会を実施	

3 施策に対する指標

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値 令和4年度	目標値に対する進捗度
①	地域防犯リーダーの数（町会等当たり平均人数）	↑	1人	2.1人	3人	55.0
			（平成24年度）	（令和2年度）		

■ データ

市内刑法犯認知件数



交通環境の充実

1 目指す姿

目指す姿	地域における交通環境が改善され、市民の利便性が向上しています。また、市民の交通安全意識が高まり、交通事故が減少しています。
------	---

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）交通環境の改善	
<主な事業名・取組> ➤八王子駅周辺交通環境の改善、高尾駅北口駅前広場及び南北自由通路等の整備、都市計画道路の整備 ・「交通マスタープラン」を策定（平成26年度） ・高尾駅北口駅前広場の整備（平成26年度～） ・八王子駅南口周辺道路（市道八王子1393号線）の開通（令和2年度） ・マルベリーブリッジの西放射線ユーロードへの延伸（令和元年度） <今後の課題> ・高尾駅南北自由通路の整備における工事着手のための条件整理	
（2）交通渋滞の緩和推進	
<主な事業名・取組> ➤幹線・生活道路の整備 ・国道16号八王子バイパスの無料化（平成27年度） ・国道16号八王子の拡幅完成（平成30年度） <今後の課題> ・地域全体の活性化に資する広域道路網の充実を図るため、八王子南バイパス及び北西部幹線道路の事業推進	
（3）交通安全教育の推進	
<主な事業名・取組> ➤交通安全教育、交通安全対策 ・一般向け交通事故疑似体験教育を開始（平成26年度～） ・大学生対象交通安全講話、一般向け自転車安全利用講習会を開始（平成27年度～） ・「第10次交通安全計画」を策定（平成28年度） <今後の課題> ・事故割合が高い高齢者や自転車の事故防止を図るため交通安全教育の充実 ・新たな生活様式に対応した、対面によらない新たな交通安全教育や広報啓発活動の検討	

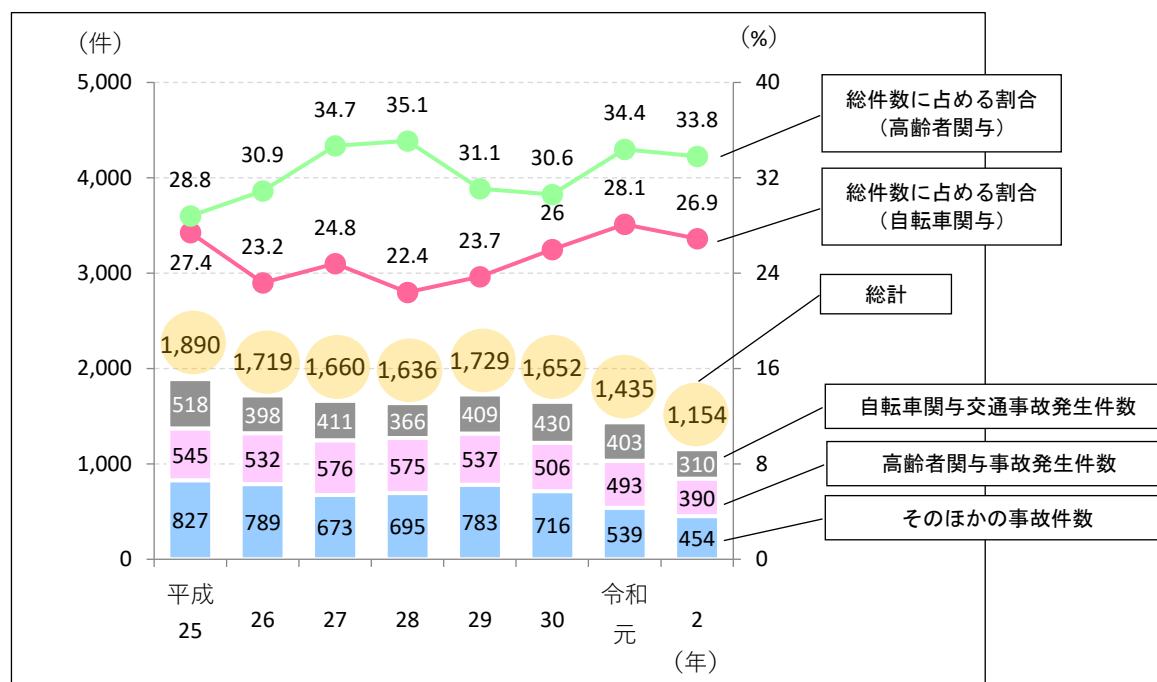
3 施策に対する指標

指標			設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標					令和4年度	
①	市内の道路が渋滞なく利用できると感じている市民の割合	↑	26.3% (平成22年度)	27.3% (令和2年度)	42%	6.4

指標 ↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標			設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
					令和4年度	
②	交通事故数	↓	2,338 件/年	1,154 件/年	1,500件 以下/年	141.3
			(平成23年度)	(令和2年度)		
③	「交通の便」の満足度	↑	46.8%	50.4%	51%	85.7
			(平成28年度)	(令和2年度)		

■ データ

交通事故件数



安全・快適な道路環境の整備

1 目指す姿

目指す姿

生活に密着した道路では、歩行者などの安全が確保されるとともに自転車の利用が促進され、誰もが快適に移動できています。

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）自転車交通の推進

<主な事業名・取組>

➤総合的な自転車利用環境の創出、放置自転車対策

- ・「自転車利用環境整備計画」を策定（平成28年度）
- ・八王子駅周辺自転車駐車場MAPに加え全市域の施設MAPを作成（令和2年度）
- ・放置自転車を検知し警告するAIカメラ及び立体路面シートの設置（令和2年度）
- ・シェアサイクル実証実験を開始（令和2年度～）

<今後の課題>

- ・シェアサイクルの利用促進を図るとともに実証実験で得られたデータに基づく、自転車走行空間の整備
- ・中心市街地における放置自転車の抑制強化
- ・コロナ禍に伴う駐車需要の変化に応じた効率的な自転車駐車場の施設運営
- ・改修経費や費用対効果を踏まえた、自転車駐車場の老朽化対応

（2）道路の安全・快適性向上

<主な事業名・取組>

➤道路の改良整備、橋りょうの維持・補修、交通安全施設の整備

- ・未就学児園外活動の交通安全対策を実施（令和2年度）

<今後の課題>

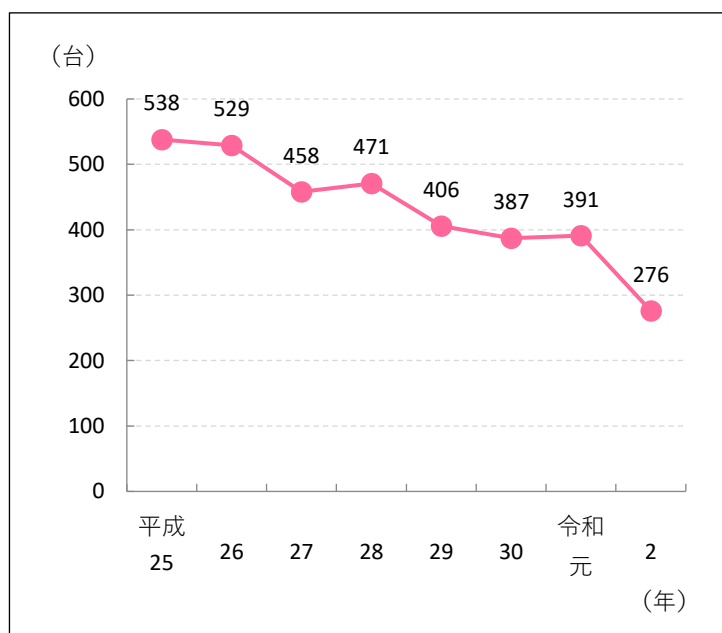
- ・老朽化が進む道路インフラ施設の維持管理における対症的維持管理から予防保全型維持管理への移行

3 施策に対する指標

指標			設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標					令和4年度	
①	自転車駐車場の利用率	↑	83.3%	71.1%	90%	-
			(平成24年度)	(令和2年度)		
②	市道整備割合	↑	83.0%	84.0%	86%	33.3
			(平成23年度)	(令和2年度)		

■データ

放置自転車等の台数



都市間交通網の整備促進

1 目指す姿

目指す姿

首都圏南西部の交通体系の構築がはかられ、周辺都市との円滑な交通アクセスが確保されることにより、人の往来や物流が活発になっています。

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）広域・主要幹線道路の整備

＜主な事業名・取組＞

➤圏央道八王子西インターチェンジ関連の基盤整備、北西部幹線道路（2工区）の整備

- ・北西部幹線道路（2工区）の事業認可（平成27年度）
- ・圏央道八王子西インターチェンジ関越道方面出入口の供用開始（平成28年度）

＜今後の課題＞

- ・圏央道八王子西インターチェンジ周辺整備における、各関係管理者との協議等
- ・八王子南バイパスにおける、市道整備を進めるための地権者との合意形成

（2）近隣自治体等との連携強化

＜主な事業名・取組＞

➤多摩都市モノレールの整備促進

- ・多摩都市モノレール八王子ルート整備促進協議会を設立（平成27年度～）

＜今後の課題＞

- ・多摩都市モノレール八王子ルート整備促進に向けた市民の認知度向上と気運醸成

■データ

市内各駅の乗降者数（1日平均）

駅名	平成29年	平成30年	令和元年
八王子駅	170,606	170,006	167,130
西八王子駅	64,986	64,432	63,646
高尾駅	58,540	57,742	56,428
片倉駅	10,410	10,442	10,424
八王子みなみ野駅	36,714	37,442	37,390
北八王子駅	18,512	19,322	19,298
小宮駅	6,194	6,100	6,110
京王八王子駅	59,408	59,510	58,184
北野駅	23,032	23,100	22,986
長沼駅	4,146	4,022	3,966
京王片倉駅	4,946	5,110	5,092
山田駅	5,236	5,198	5,188
めじろ台駅	17,816	17,258	16,730
狭間駅	7,952	8,100	7,966
高尾駅（京王）	27,926	27,836	26,916
高尾山口駅	11,160	11,262	10,346
京王堀之内駅	32,428	33,046	32,416
南大沢駅	64,398	64,358	63,462
松が谷駅	2,502	2,660	2,780
大塚・帝京大学駅	6,944	6,940	7,116
中央大学・明星大学駅	35,132	34,972	33,850

公共交通の充実

1 目指す姿

目指す姿	鉄道や路線バスなどの公共交通が定時に運行されるなど、利用者の利便性が向上しています。
------	--

2 施策の展開（これまでの取り組みと今後の課題）

（1）バス交通の充実	
＜主な事業名・取組＞ ➤地域公共交通の充実、地域循環バス「はちバス」の運行 ・「公共交通計画」を策定（平成28年度） ・バスマップを作成（平成28年度～） ・はちバス運行コースを再編（平成30年度） ・打越旭ヶ丘団地での乗合タクシーを運行開始（令和元年度～） ＜今後の課題＞ ・地域交通事業についてコミュニティバス等の役割を整理し、地域の実情にあった持続可能な地域公共交通の実現 ・市が運営するコミュニティバスについて、収支率の向上、持続可能な運営、利用者の利便性向上に向けた見直しの準備	
（2）既存鉄道の利便性向上	
＜主な取組＞ ・八王子駅周辺の案内サイン整備工事の実施（令和元・2年度） ＜今後の課題＞ ・輸送力強化など利便性向上に向けた取組みの促進とともに、安全性向上に向けた取組みの促進	

3 施策に対する指標

指標			設定時の値	現状値	目標値	目標値に対する進捗度
↑ 目標値を上回ることが望ましい指標 ↓ 目標値を下回ることが望ましい指標					令和4年度	
①	公共交通の利便性の満足度	↑	50.9%	65.2%	67%	88.8
			(平成24年度)	(令和2年度)		

■データ

定期路線バスの路線系統数

						(路線)
平成25年度 (2013)	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	令和元年度 (2019)
239	241	261	261	271	277	283